

横浜 10/15
東京 10/16-18, 24
京都 10/17-18
神戸 10/19, 24-25
大阪 11/07
仙台 11/21-22
浦安 11/29

ウクライナ 映画祭

映画で出会う、本物のウクライナ



駐日ウクライナ特命全権大使からのご挨拶



日本で開催されるウクライナ最大規模の映画祭の開幕を心よりお祝い申し上げます。

このたび、日本の皆さまに現代ウクライナの劇映画とドキュメンタリー映画の数々をご紹介できることを、大変光栄に思います。これは、ウクライナと日本の文化的な対話をさらに深めていくための、大切な一歩だと感じています。

芸術には、その国をより深く知る力があります。映画を通して、そこに生きる人々や、その物語、価値観、記憶、そして夢に触れることができます。

本映画祭で上映される作品は、ジャンルも雰囲気もさまざまですが、いずれもウクライナという国について語っています。それは、生き生きとして、多面的で、才能にあふれ、そして世界に開かれたウクライナの姿を伝えています。

今、ウクライナは歴史上きわめて困難な時期を経験しています。だからこそ、世界の皆さまに、戦争という側面だけではないウクライナの姿を知っていただくことが、これまで以上に大切なのだと思います。

ウクライナとは何よりも、そこに生きる人々であり、文化であり、創造性であり、歴史であり、そして自由を切望する国です。映画という芸術は、そんなウクライナを感じ、理解する機会を与えてくれます。

この映画祭を実現するために尽力されたすべての主催者、パートナー、ボランティアの皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、ウクライナ文化に関心を寄せ、映画を通してウクライナを知ろうとくださる日本の皆さまにも、心から御礼申し上げます。

ウクライナ映画が、ウクライナと日本の人々が出会い、心を通わせる新たな場となりますように。そして、この映画祭が、両国の人々をこれからもつなぐ素晴らしい伝統として、末永く続いていくことを願っています。

ウクライナ映画との出会いが、皆様にとって鮮烈な印象と忘れられないひとときとなりますようお祈り申し上げます。

ルトヴィノフ・ユーリ

横浜 関東学院大学、関内キャンパス

10/15 (木) 17:00
セコンド・ウインド
75分

東京 港区立男女平等参画センター (LIBRA)

10/16 (金)	14:00 開会式	14:30 セコンド・ウインド 75分 15:45 トークイベント 英語・日本語 (通訳あり)	18:00 クリミアの祈り 99分 クリミアタタル民族音楽 ミニコンサートあり
10/17 (土)	11:00 わが思いは静か 104分 トークイベントあり (日本語)	14:00 ユー・アー・ザ・ユニバース 101分 トークイベントあり (日本語)	17:00 パラヌィッチャ 64分 トークイベントあり (日本語)
10/18 (日)	10:00~13:00 サムチキウカ絵画 ワークショップ	15:00 地下に芽吹く庭 90分 *特別上映	

東京 ウクライナ心のケア交流センターひまわり

10/24 (土) 17:00
ハネムーン
84分
トークイベントおよび交流会あり

東京 恵比寿ガーデンシネマ

11/13-19 We Will Not Fade Away (ぼくらは消えない)
100分
の間のいずれか (要確認) ポーランド映画祭の枠内で、東京ポーランド広報文化センターによる特別上映

京都 京都文化博物館 3Fフィルムシアター

10/17 (土)	13:30~16:00 ファミリー・アルバム 80分 開会式およびトークイベントあり (日本語)	17:00 マランカとクリスマス 92分
10/18 (日)	13:30~16:00 セコンド・ウインド 75分 トークイベント ウクライナ語・日本語 (通訳あり)	17:00 ハネムーン 84分

※先着順、事前登録なし。博物館総合展示入場料が必要 (一般600円、大学生400円、高校生以下無料)

- (1) 全作品はウクライナ語音声、日本語字幕付き
- (2) 京都会場及び仙台会場以外、事前登録が必要
- (3) 事前登録の詳細は、表紙の二次元コードから
- (4) 京都会場以外、すべてのプログラムが無料

問い合わせ先: emb_jp@mfa.gov.ua

神戸 神戸学院大学、ポートアイランドキャンパス

10/19 (月)	16:00 セCOND・ウインド 75分 開会式およびトークイベントあり		
10/24 (土)	13:30 パラヌイッチャ 64分 トークイベントあり	15:30 クリミアの祈り 99分 トークイベントあり	
10/25 (日)	13:00 戦時下の動物たち 100分	15:00 犬と戦争 110分 トークイベントあり	18:00 レセプション

大阪 天王寺区民センター

11/07 (土)	11:00 地下に芽吹く庭 90分 *特別上映	13:00~13:30 開会式	14:00 セCOND・ウインド 75分
	16:00 ユー・アー・ザ・ユニバース 101分	18:15 戦時下の動物たち 97分	

仙台 せんだいメディアテーク

11/21 (土)	10:30 ユー・アー・ザ・ユニバース 101分 開会式	13:00 地下に芽吹く庭 90分 *特別上映	15:30 (90分) 特別講演企画	18:00 ハネムーン 84分
11/22 (日)	10:30 パラヌイッチャ 64分	12:30 わが思いは静か 104分	15:00 ファミリー・アルバム 80分	17:00 マランカとクリスマス 92分

※先着順、事前登録なし。

浦安 国際センター

11/29 (日)	12:00~15:00 クリミアの祈り 99分
-----------	--------------------------------------

- (1) 全作品はウクライナ語音声、日本語字幕付き
- (2) 京都会場及び仙台会場以外、事前登録が必要
- (3) 事前登録の詳細は、表紙の二次元コードから
- (4) 京都会場以外、すべてのプログラムが無料

問い合わせ先: emb_jp@mfa.gov.ua

戦時下の動物たち

Війна очима тварин / Animals in War

ウクライナ、ドイツ / 97分 / ウクライナ語、英語 /
2025年 / 複数の監督によるドラマ



10月25日 (日) 神戸
11月7日 (土) 大阪

ウクライナ戦争を「動物の視点」で描く、7つの短編からなるオムニバス作品。ウサギ、オオカミ、牛など、動物たちをめぐる実話に基づく物語を通して、戦争がもたらした人道的・環境的破壊を見つめる。作品のひとつに、アメリカの俳優・監督のショーン・ベンが参加。

セコンド・ウィンド

Друге дихання / Second Wind

監督＝マーシャ・コンダコワ / ウクライナ / フランス /
2025年 / 75分 / ウクライナ語 / ドキュメンタリー



10月15日 (木) 横浜
10月16日 (金) 東京
10月18日 (日) 京都
10月19日 (月) 神戸
11月7日 (土) 大阪

戦争で深い傷を負った5人のウクライナ兵士が、アフリカ最高峰・キリマンジャロへの登頂に挑む姿を追ったドキュメンタリー。義肢を装着した4人の兵士、そして重傷を負いながらも前線に立ち続けた女性狙撃手オリハ——彼らは「障害は限界ではなく、挑戦である」という信念を胸に、再び自分の人生を取り戻すための旅へと踏み出す。

極限の自然環境、痛み、恐怖、そして戦争の記憶。それらと向き合いながら一步步山を登る彼らの姿は、決して屈しない意志を示し、戦争の荒廃から立ち上がる国家の希望を力強く象徴している。

マランカとクリスマス

Маланка і Різдво / Malanka and Christmas

監督＝ミコラ・ノソク / ウクライナ / 2024年 /
92分 / ウクライナ語 / ドラマ



10月17日 (土) 京都
11月22日 (日) 仙台

全面侵攻直前のウクライナで行われた民族行事「マランカ」と、解放されたばかりのスロボジヤーンシチナとドネチナで迎えたクリスマスの様子を捉えたドキュメンタリー。ウクライナ西部の山岳民族であるフツルの楽器を作り奏でる音楽家ドミトロ・マズリアクは、15年にわたり村の伝統を守り続けてきた。彼の揺るぎない信念は、国内各地から集まった若者たちとともにキリスト降誕劇を再び息づかせ、傷ついた地域に文化の光と希望をもたらしている。

ハネムーン

Медовий місяць / Honeymoon

監督＝ジャンナ・オジルナ / ウクライナ / 2024年 /
84分 / ウクライナ語 / ドラマ



10月24日 (土) 東京
10月18日 (日) 京都
11月21日 (土) 仙台

2022年2月、キーウ近郊の新居で初めての夜を迎えたタラスとオーリヤ。夜明けとともに爆発が始まり、ロシア軍が建物を占拠する中、二人は電気も水も途絶えた密室に閉じ込められてしまう。極限の恐怖にさらされながら、二人は互いの関係の深淵へと踏み入り、人生の根源に関わる重大な問いに直面する。

ぼくらは消えない

Ми не згаснемо / We Will Not Fade Away

監督=アリス・コヴァレンコ / 100分 / 2023 / ウクライナ、フランス、ポーランド / ドキュメンタリー



11月13-19日
の間のいずれか 東京

戦争の暗い影が落ちるドンバスで、5人の若者は戦火と退屈な小さな町から抜け出すことを夢見ている。そのエネルギーは、思いがけず彼らをネパールへと導いていく。戦争に影を落とされながらも消えることのない彼らの夢、揺れ続ける日々の葛藤、かけがえない時間の中でのかすかな未来への希望を静かなまなざしで記録した作品。

わが思いは静か

Мої думки тихі / My Thoughts Are Silent

監督=アントニオ・ルキッチ / 2019年 / ウクライナ / 104分 / ドラマ



10月17日 (土) 東京
11月22日 (日) 仙台

25歳のヴァディムは、キーウで作曲・録音技師として働いていた。仕事も私生活もうまくいかず、人生の行き詰まりを感じていた彼に、カナダのゲーム会社から、ウクライナ最西端のザカルパッチャ（トランスカルパチア）地方にいる動物の鳴き声を録音する仕事が無いた。成功すれば憧れのカナダへの移住が叶うかもしれないが、愛情深くも過干渉な母親が同行することになって計画は思わぬ方向へ転がり始める。

パラヌィツャ

Паляниця / Palyanytsia

監督=ヴァディム・タラソウ、ユリア・ボルシンスカ / 2025年 / ウクライナ / 64分 / ドキュメンタリー



10月17日 (土) 東京
10月24日 (土) 神戸
11月22日 (日) 仙台

ロシアによるウクライナへの全面侵攻。ストリート・アーティストのバンディットとジョニーは破壊された街を巡り、壁に絵を描きながら、ウクライナの“今”を記録していくことで、自らの作品を通して過酷な現実を見つめ、戦争が人間にもたらす代償へと、深い問いを投げかける。「パラヌィツャ」という言葉が意味するものとは。

地下に芽吹く庭*

Підземний сад / The Underground Garden

監督=ジュリアン・ウリビン / ウクライナ / 90分 / ウクライナ語 / 2026年 / ドキュメンタリー



10月18日 (日) 東京
11月7日 (土) 大阪
11月21日 (土) 仙台

戦火に揺れるハルキウ。防空壕にひっそりと作られたアートスタジオで、子どもたちは思い思いに絵を描くことに没頭している。やがて、若きアーティストたちは地下から飛び出し初めて国際展へと歩みを進めていく。戦争の時代に芸術は意味を持つのか——その問いに答えるのは、彼らの創造した色彩に違いない。

*特別上映

ファミリー・アルバム

Сімейний альбом / Family Album

監督＝マリナ・トカチュク／ウクライナ／2024年／
80分／ウクライナ語、英語／ドキュメンタリー



10月17日 (土) 京都

11月22日 (日) 仙台

英国人写真家サマラ・ピアスは、1933年に起きたホロドモール（人為的な大飢饉）を奇跡的に記録した曾祖父アレクサンダー・ウィーナーベルガーの足跡をたどり、ハルキウを訪れる。ホロドモールにおけるロシアのジェノサイド行為と、現在のウクライナへの全面侵攻との歴史的な連続性に焦点を当てながら、サマラは現在の戦争を記録し、ウクライナの人々がいまなお深刻な迫害にさらされている現実を伝えようとする。そして、歴史に翻弄され、過酷な状況に置かれているウクライナの真実と、国を愛することの意味を知る。

犬と戦争

監督＝山田あかね／日本／109分／2024年／
ドキュメンタリー



10月25日 (日) 神戸

山田監督は、「犬は人間の最も近くにいる動物。彼らを通して世界を見ると、人間の姿が浮き彫りになる。“犬の向こう側”には必ず人間がいます」と語る。本作では、戦場で生きる犬たちの様子ははじめ、その小さな命を救おうと世界中から駆け付けた人々の奮闘の姿が映し出される。犬たちを取材する中で見えてきたのは、戦争に翻弄される人々の姿、そして様々な立場から語られる平和への願いだった。

ユー・アー・ザ・ユニバース

Ти - космос / U Are the Universe

監督＝パブロ・オストリコフ／2024年／ウクライナ、
ベルギー／101分／ドラマ



10月17日 (土) 東京

11月7日 (土) 大阪

11月21日 (土) 仙台

近未来。ウクライナの宇宙運搬士アンドリー・メルニクは、木星の衛星カリストへ核廃棄物を運んでいる。いつもの航行の最中、突然地球が爆発し、彼はこの宇宙でただひとり生き残った人間となってしまう。絶望的な孤独の中、遠く離れた宇宙ステーションからカトリヌと名乗る通信が届く。アンドリーはあらゆる困難を乗り越えて、彼女に会いに行く決意を固める。

クリミアの祈り

Чужа молитва / Their Prayer

監督＝アフテム・セイタブラエウ監督／2017年／
ウクライナ／99分／ドラマ



10月16日 (金) 東京

10月24日 (土) 神戸

第二次世界大戦中、ナチス・ドイツ軍に占領された都市、バフチサイ。孤児院で働くクリミア・タタール人の若い教師サイデのもとに、少年イツハクが助けを求めて現れる。彼と仲間の子どもたちはナチスの迫害から逃れ、身を隠していた。深刻な危険が迫る中、自分の命を守るか、子供たちを救うか——サイデは、自らも迫害される立場でありながら、彼らを救う決断をする。88人のユダヤ人の子どもたちをタタール人の孤児と偽って救い出したという、驚くべき実話をもとにした物語。

主催



共催

関東学院大学

ウクライナ心のケア交流センターひまわり

京都府京都文化博物館

在神戸ウクライナ名誉領事館

一般社団法人ドドム

せんだいメディアテーク

日本ウクライナパートナーシップ協会

メインスポンサー



協力

東京都港区

国際ロータリー「日本・ウクライナ国際共同委員会」(ICC)

学校法人仙台育英学園

大坪亮様

特別パートナー

ポーランド広報文化センター

プログラムコーディネーター

パンチュク・ダリア

問い合わせ先: emb_jp@mfa.gov.ua